

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28実績	前年度比	自己評価	外部評価
図書館運営	基本的サービス					・中央図書館は個人の貸出点数、登録者数、新規登録者数、入館者数すべてが減少傾向にある。新しい利用者を増やすよう、魅力ある事業の企画や、積極的な情報発信に努める。	・各種人数の減少傾向はある程度やむを得ないと思う一方で、イベントなどをきっかけにした新たな利用者が生まれることも事実である。引き続き努力していただきたい。一方で、この項目には表れないが利用者によりかしい図書館利用ができるような利用の質の向上にも努めていただきたい。 ・町に図書館があるという事自体に意義がある。数字には表れないものも多い。日々の意識・姿勢を継続していけば、光はあると思う。 ・ネットワークの利用もあり、本を借りるだけであれば中央図書館まで足を運ぶ必要はないわけなので、何かしらもつ別の魅力が必要かもしれない。 ・人口減少が原因の一端でもあると思われるが、未利用者が多数いる事も事実。PRに更なる工夫が必要かと思われる。 ・資料購入費の落ち込みが大きい。市の財政上の理由からであろうが、文化的予算は削減しやすことが理由だろうが、一定水準の確保を求めたい。 ・本離れの世の中この数字は「まあまあ」ではないか。記載された努力を今後も望む。 ・減少の原因にスマホをあげていたようであるが、他に別な原因が考えられないであろうか。終活を考え本の購入をひかえたいところであるが、書店の上手いポップにひかれり、新刊の割引販売などでつい購入してしまう。読み終わったものを回収する場所を作り、集まったものを貸出しに使えないだろうか。 ・実績数でいくと前々年度からみても減少傾向となっている。課題の一つである駐車場問題。利用者の高齢化によるアクセスの問題が大きいかと考えるが、魅力ある事業の企画に期待したい。 ・10年経過しても1度もほんぽーとへ来館していないという人がいる。図書館見学会等企画し図書館を見て頂く事が先決。メルマガ会員を増加させ、SNSで発信してみたいかがでしょうか。開館を30分早く9時30分開館を考慮し、市民の欲求に応えては。 ・登録者数や入館者数等、確かに減少しているが、健闘しているのではないと思う。公共施設なので、数値結果にあまりこだわらず、良いものを提供するという視点も大切にしてよいのではないかと。 ・なかなか厳しい状況にあることは分かる。でも、その中で図書館の方々にはよく努力していただいているとありがたく思っている。何か政治を交える、政治に働きかける手立てを考える必要があるだろう。
	資料購入費:決算数値(千円)	48,112	49,072	38,422	0.78		
	蔵書点数(点):図書・AV	437,487	450,959	461,787	1.02		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	1,257,356	1,214,240	1,153,089	0.95		
	個人の登録者数(人)	47,203	44,213	41,699	0.94		
	(内新規登録者数)	5,939	5,039	4,686	0.93		
入館者数(人)	630,912	613,012	591,605	0.97			

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28目標	H28実績	自己評点	H29目標	自己評価	外部評価	
図書館運営	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	25,835	26,441	26,500	23,879	1	23,000	・レファレンス件数、ビジネス支援サービス相談件数とも前年度に比べ減少し、目標に達することができなかった。くらしやビジネスを行う上での図書館活用について、機会をとらえてPRしていく。 ・個人予約件数は、スマホページ開始の影響でH27は前年度比3%増だったが、H28はスマホ利用が定着し、前年度比は微増だった。	・利用者の利用の仕方の変化をとらえていくことが重要である。特にメディアとの関係には注意を払う必要がある。 ・レファレンスを利用した事のない人に周知するのは至難の技。具体例を細かに挙げると、PRの仕方に工夫が必要。 ・インターネット等で自己解決してしまう傾向があるように思われるが、図書館ならではの情報・知識がある旨のPRがほしい。 ・全体としては「こんなものか」感がある。 ・実績が減少しているのだが、目標数値をずいぶん低めにすることは気になる。 ・レファレンスについての広報活動が必要。 ・スマホページの開始など、工夫して取り組んでいるのが分かる。 ・やはり、学校の授業の中で、少し体験してもらって、その有用性を体験させる必要がある。	
	個人予約件数(件)	138,368	142,452	143,000	143,287	3	143,500			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	377	321	330	205	1	230			
特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	37,834	39,058	40,000	40,088	3	41,000	自己評価	外部評価	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	8,729	8,049	9,000	7,475	1	8,000	・郷土資料の貸出冊数は前年度比約8%の減少となった。テーマ展示で郷土資料を積極的に紹介するなどして、利用につなげていく。	・郷土資料をきちんと収集・保存・整理・提供することは、地域住民のみならず、他地域住民や外国の人に対しても重要なことである。地域の公共図書館の使命として、地道な活動を望む。 ・中央区という面と市全体という面をもつ中央区の役割は重要。広く関心を導いてほしい。郷土資料だけを紹介するのではなく、他の地域との比較など柔軟な企画はどうだろうか。 ・利用者は限定されるだろうが、図書館の役割の大切な部分なので、数値にこだわる必要がないように思う。 ・「行政資料」を同じ分類に入れているが、郷土資料(郷土出版物)は増えているのだろうか。予算削減の影響はないのだろうか。 ・全体としては「こんなものか」感がある。 ・郷土史関連は禁帯出のものが多いが、少しゆるめてもらえないだろうか。 ・郷土資料の紹介に努めることに期待する。 ・貸出数が減少傾向であり、郷土資料コーナーの見直し縮小し、公民館の方へお願いし空いたスペースを他図書で展開しては。 ・政令市となり、大合併したことで、地域という意識が弱くなってきている。自分たちの町という誇りもなかなか持てないだろう。地域の歴史や産業等の紹介、学習の機会を持つ必要がある。	
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	3	1	3	3	2	3			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	—	20	20	24	3	20			
施策・事業(各図書館)	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」							自己評価	外部評価	
	児童書の貸出冊数(冊)	234,633	236,738	237,000	232,662	1	233,000	自己評価	外部評価	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	24,933	29,133	29,500	33,486	3	33,500	・事業への参加者数、職場体験の受入人数、職員の派遣人数、連携・協力事業が前年度比で減少し、目標値に達することができなかった。事業については、参加しやすいイベントを計画し周知に努める。他機関との関わりがあるものについては、こちらから引き続き働きかけを行う。	・子どもの人数が減少している以上、単に合計数の統計をとっているだけでは何でも減少してしまう。児童一人あたりの数を出すなどして、一人一人の児童が幅広い意味で、図書館に助けられて人生を切り拓いていくようにしていただきたいし、そのことが分かるような指標統計を作り出してほしい。 ・中学より高校生、若い人の利用が少ないのは図書館にかぎった事ではない。一度、読書のたのしみ、図書館の存在を知った人なら何かのきっかけでいつかは戻ってくる。常に門を開け、語り続ける事は大切。 ・学校への団体貸出が増えているのは喜ばしいが授業に関連する貸出の場合、必要な本が重なってこないか。 ・全体としては「こんなものか」感がある。 ・子ども・親子対象事業の参加者数が平成26年度から比べると、減少が大きい。事業数にもよるかも知れないが今後期待したい。職員の派遣人数は目標数値が大きかったことは本来意味があったのではないかと。 ・数字にこだわらず内容充実を心がけていただきたいと思えます。現場では大いに活用されています。 ・小学校で、図書館ジャックで3~4時間図書館探検させてみる。ピンズルームの有効活用を考えた？ 部屋が活用されず寂しいかぎりになっています。 ・実績について、全体的な数値は目標に達していないが、学校への貸出しは増えており、活用しやすい事業となっている。(学校を代表して感謝します。) ・小学生の読書がかなり活発になってきている現状にあって、中学生の読書量が増えないこと。市立図書館の来館者数、貸出し数の増加が見られないのは、やはり、小学校の読書の質が向上していないからだと思う。もっと読書を奨励し、読書ができる読書好きを育てていく必要がある。	
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	7,410	5,119	5,200	4,522	1	4,500			
	職場体験受入人数(人)	64	48	48	38	1	45			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	32	37	40	25	1	25			
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	—	2	3	2	1	3				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」	図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,676	1,598	1,600	1,707	3	1,600	自己評価	外部評価	
	ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	45	47	50	55	3	50	・図書館ボランティア活動者数は前年度より増加し、目標を達成することができた。今後も活動の場を提供し、協働して図書館運営を行っていく。	・今後は、公共図書館にも多様なメディア・資料を置くべきであるし、朗読ボランティアや資料作成のボランティアも益々重要になるであろう。このような時代の変化に合わせて活動の努力に対して敬意を払いたい。 ・ボランティアの連携や増加したボランティア活動者の活用にも期待する。 ・今後も利用者のニーズをしっかりとつかみ喜びあわせていく姿勢が大切だと思います。 ・ボランティアが活動しやすいよう、配慮・助言があり助けています。 ・努力された感がある。 ・ボランティアの増員は、図書館の魅力を知ったからだろうと思う。パートナーシップ型図書館であることを評価する。 ・図書館主導でボランティア養成講座を年2回企画してほしい。 ・ボランティアの参加者を増やし、その家族や知人たちに図書館を利用したり、読書を楽しんだりする人の増加につなげていくことが大切だと思う。ボランティアの方と図書館職員との交流信頼関係作りも大切である。	
	利用者の意見を把握する機会の設定(回)	4 (協議会3回、利用者懇談会1回)	3 (協議会3回)	3 (協議会3回、正副協議会長会議1回)	4 (協議会3回、正副協議会長会議1回)	3	3	※補足: H28ボランティア団体交流参加者数「中央・豊栄・白根の3団体交流会」に中央から17名「読み聞かせ等ボランティアグループ交流会(全市対象)」に38名		
	共催・協働事業の実施件数(件)	—	44	45	57	3	55			
効率的・効果的な運営(職員)	自己評価							自己評価	外部評価	
	研修参加職員数(延人数)	195	153	160	240	3	160	・専門的な研修への参加に加え、認知症の人への対応研修など職員全員が参加する内部研修を実施したため、目標値を大幅に上回った。	・多様な利用者を想定して、対応できるように職員研修を行うことは時流に合っていると思う。素晴らしい。 ・地道な活動を続けてほしい。 ・研修の効果が今後出てくることに期待したい。 ・努力された感がある。 ・高齢社会に対応し、サービス充実に向けて研修を実施されたことを評価する。 ・大幅に上回り引き続き積極的に研修参加してほしい。 ・目今の課題だけでなく、図書館職員としての専門的知識、大好きな読書を多くの人たちにも好きになってもらうための手立てや利用者への対応の仕方等を意図をもって研修してほしい。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った